

境になっているのではないかと考えます。治安上、広野町が住みやすい町になるためにもより多くの街灯の設置と、現在、電気が切れて暗くなっている街灯の修繕をしていただくことは可能でしょうか。

**町長** ご質問の「広野町の街灯について」の「街灯の設置と、現在、電気が切れて暗くなっている街灯を修繕してほしい。」につきましては、町内の防犯灯は現在5万5千基設置しております。日常のパトロールにおいて現地を確認し、町民のみならず安全の確保や犯罪被害の未然防止を図るため、防犯灯の計画的な設置と修繕など適切な維持管理に取り組んでいます。住民の安心・安全な生活環境の整備に向けて、まず現地を確認し、現況に応じて適切に対応いたします。

### 野生動物対策と活用について



議員 坪井 楓 (つばい かのえ)

**質問** 広野町内では、野生動物が交通事故で死んでしまっている場面が良く見られます。野生動物が死んでしまったことにより、渋滞や人身事故など

の二次被害の危険性があります。この問題を解決するために、野生動物の保護を提案します。しかし、すべての動物の保護は難しいので、猫を中心とするブックカフェという企画を提案します。これは、猫カフェと本を読む場所を融合したカフェです。野生の猫を保護し、本は町民から寄付していただけるように呼びかけます。このような活動で、人を集めるとともに動物の保護を行い、町の活性化をしていきたいと考えます。ブックカフェカフェという企画について町のご協力をいただくことは可能でしょうか。

**町長** ご質問の「野生動物対策と活用について」の「猫を中心とするブックカフェ・カフェの設立により、広野町の野良猫対策と活性化に繋がりたいと考えるため、この企画に協力いただけないか」につきましては、東日本大震災および原子力災害以降、町内に「飼い主のいない猫」が増え、周辺住民から糞尿被害、いたずら、路上で負傷する猫の数が増えているなどの苦情が寄せられています。

解決策として、町では、公益財団法人どうぶつ基金が不妊手術・ワクチン・ノミ駆除薬の費用を全額負担する「さくらねこ無料不妊手術事業」(行政枠)に参加し、地域猫活動を行うボランティア団体などと連携してTNR事業(Trap(トラップ)／捕獲し、Neuter(ニュート)／不妊去勢手術を行い、Return(リターン)／元

### 道路の除草について



議員 奥村 玲央 (おくむら れお)

**質問** 私たちは普段広野町を歩行して歩いて歩きにくく感じるごことがあります。その理由として、雑草が生い茂っていることが考えられます。特に、築地から二ツ沼の間の歩道で目立っています。また、広野町には二ツ沼公園がお年寄りや幼児がたくさん訪れています。そのため、利用者の安全上の観点から道路の除草などの整備が必要と考えられます。現在、整備や修繕などの対策は、どなたがいつどのように行っていますか。

**町長** ご質問の「道路の除草について」の「現在、整備や修繕などの対策は、どなたがいつどのように行なっていますか」につきましては、町内の道路の維持管理については、国道、県道、町道とそれぞれの道路管理者が維持管理をしています。ご質問の歩道については、国道事務所が草刈りを実施していますが、除草する区間が長く間に合っていないのが現状です。町が管理する道路の除草については、年一回、お盆を迎える前に実施し、更に、国道や県

の場所に戻す、その印として耳先をさくらの花びらのようにV字カットする(こ)を行い、野良猫の繁殖を防止するとともに、「地域の猫」(ねこ)として一代限りの命を全うさせ、飼い主のいない猫に関わる苦情や殺処分分の減少に寄与する活動に取り組んでいます。震災後、130頭の野良猫が無料不妊手術を終え町内に戻されています。

ブックカフェについてのご提案につきましては、カフェを作るには、規模にもよりますが土地や建物、機械設備などの設備投資、猫を24時間体制で管理する必要やそこで働く人員の確保など、初期投資ばかりではなく、その後に発生するランニングコストなど、多くの経費が必要となります。テレビなどで、芸能人が私財を投じて保護施設を立ち上げた番組をご覧になったことがある人は多いと思います。費用の面、人員の確保の面において、町がブックカフェカフェを運営することは難しい現状であり、ブックカフェトカフェについては、民間活力により運営をいただくことが最善であると捉えています。今後において、町は「さくらねこ無料不妊手術事業(行政枠)」に継続して参加し、地域猫活動を行うボランティア団体などと連携し、保護猫の引き取り先を探すなどの協力などに取り組んでいきます。

道などの主要な道路との交差点で見通しが悪い箇所の除草は必要に感じ町が実施しています。道路の修繕については、週3回、道路パトロール員によるパトロールを実施し、損傷箇所があった場合は、その報告を受け、現地にて修繕の必要性を総合的に判断し、年間を通じて維持修繕を実施し、道路交通の安全確保に取り組んでいます。

### JFAアカデミーを活用した地域活性化について



議員 大野 琥翔 (おの こう)

**質問** 広野町には、JFAアカデミー福島という組織があります。このJFAアカデミー福島を地域活性化に活用できないかと考えました。現在、広野町では「キッズリーダー講習」というJFAアカデミー福島とコラボしたイベントを開催しています。しかし、このイベントは小学生限定ですので、私たちは近隣地域の人々と広野町民、JFAアカデミー福島とコラボしたサッカー大会を提案します。この企画が広野町の魅力となり、広野町外との交流が増えると考えます。ぜひこの企画の検討をお願いします。

### 町内の自転車需要について



議員 末永 悠晴 (すえなが ゆうせい)

**質問** 広野町には、自転車を利用している人が多く見られます。また、坂道など険しい道も多く自転車がよく故障します。そこで、修理するとなるといわき市まで行かなくてはなりません。もし、広野町に自転車店があれば、わざわざいわき市まで行かなくても済み、すぐに修理できて安全に使用して生活することができそうです。

このように、広野町に自転車店が出来ることにより、私たちを含め、町民の皆さんにとっても便利になると考えます。また、自転車店を作ることが不可能であれば、自転車を修理するサービスのある拠点を作ったり、常設でなくとも週に1日程度の自転車を修理する出張業者があったりしてもよいのではないかと考えました。浜通り地域では、サイクリング文化が芽生えており、サイクリングの需要の可能性も含め、自転車を修理する拠点やサービスがあることで広野町を含めた浜通り地域の活性化にもつながると考えました。このようにことから、広野町に自転車を

**教育長** ご質問の「JFAアカデミー福島を活用した地域活性化」につきましては、町は、JFAアカデミー福島の生徒の皆さんがスタッフとともに、「JFAキッズプロジェクト」に基づき、広野小学校の子ども達に、サッカーを楽しむ時間と交流を図っていただいていることに感謝申し上げます。

一方、町は、年間を通じて各種イベントを開催しております。5月の「五社山登山」、10月の「集団対抗パークゴルフ大会」、NPO法人広野みかんクラブが主催する「MIKANカップ」では、6月にフットサル大会、7月に野球大会、10月にソフトボール大会、12月にバレーボール大会並びにバドミントン大会を開催し、来年2月には陸上大会を開催する予定です。

また、町が主催するイベントとしては、スポーツイベントだけでなく文化イベントも各種行っております。公民館講座として、毎週月曜日開催の「英語教室」のほかにも、茶道・書道教室を開催しています。まずは、広野中学校の生徒の皆さんが、これらの大会やイベント、文化教室に積極的に参加され、地域の方々との交流を図っていただきたいと思っております。参加してみた結果、サッカー大会が必要と考えられるのであれば、その際には、JFAアカデミー生の皆さん、スタッフの皆さんとコラボした大会もしくはイベントを検討していきます。



修理する店舗や拠点、または、サービスをしてくれる施設を置くことは可能でしょうか。